

酪農家の皆様へ

# 令和元(2019)年度から 牛ウイルス性下痢・粘膜病 の検査を強化します！

## 牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）

異常産、下痢などの症状を示します。

妊娠牛が感染すると、生涯にわたって本病に感染し続ける牛(PI牛)を産むことがあります。PI牛の治療法はなく、感染を広げ、**新たなPI牛が産まれる原因**となります。また、**PI牛から産まれる子牛は全てPI牛**です。PI牛は健康に見えることも多く、知らぬ間に本病をまん延させ、大きな経済被害(異常産の頻発など)\*の原因となり得ます。

\*PI牛の80%は2年以内に死亡するとの報告があります。



検査料：無料      方法：バルク乳の検査

PI牛摘発のため、御協力をお願いいたします。

検査で陽性になった場合の対応は裏面を御覧ください

バルク乳検査で陽性となった場合

**農場内にPI牛がいる可能性があります！**

農場内の全頭採血検査を実施しますので、御協力をお願いいたします。検査料は無料です。

全頭採血（子牛含む）

PI疑い牛の特定



3週間後

PI疑い牛のみ採血

PI牛の確定

## PI牛を摘発したら

### ① PI牛の自主とう汰※

補助が受けられますので、家畜保健衛生所に御相談ください。

※PI牛を摘発・とう汰することで、原因不明の異常産、下痢、発育不良の改善につながる可能性があります。

### ② 新生子牛の検査

10か月間、新生子牛がPI牛ではないかの確認検査をします。

### ③ 侵入防止

ワクチン接種、導入牛等の検査をお勧めします。

本病対策には、生産者の皆様の協力が不可欠です。  
御理解及び御協力をよろしくお願いいたします。



検査に関するお問合せは・・・

栃木県南家畜保健衛生所 防疫課

TEL：0282-27-3611 FAX：0282-27-4144

和牛繁殖農家の皆様へ

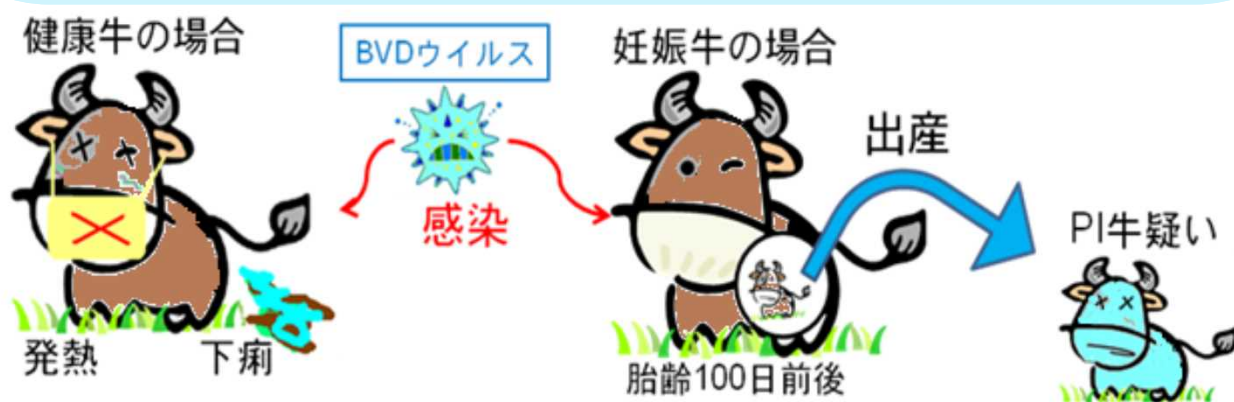
# 令和元(2019)年度から 牛ウイルス性下痢・粘膜病 の検査を強化します！

## 牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）

異常産、下痢などの症状を示します。

妊娠牛が感染すると、生涯にわたって本病に感染し続ける牛(PI牛)を産むことがあります。PI牛の治療法はなく、感染を広げ、**新たなPI牛が産まれる原因**となります。また、**PI牛から産まれる子牛は全てPI牛**です。PI牛は健康に見えることも多く、知らぬ間に本病をまん延させ、大きな経済被害(異常産の頻発など)\*の原因となり得ます。

※PI牛の80%は2年以内に死亡するとの報告があります。



検査料：無料      検体：定期検査残余血

PI牛摘発のため、御協力をお願いいたします。

検査で陽性になった場合の対応は裏面を御覧ください

検査で陽性となった場合

**農場内にPI牛がいる可能性があります！**

未検査牛も採血し、追加検査を実施しますので、御協力をお願いいたします。検査料は無料です。

定期検査での陽性牛

PI疑い牛

未検査牛採血（子牛含む）

PI疑い牛の特定

3週間後

PI疑い牛のみ採血

PI牛の確定

## PI牛を摘発したら

### ① PI牛の自主とう汰※

補助が受けられますので、家畜保健衛生所に御相談ください。

※PI牛を摘発・とう汰することで、原因不明の異常産、下痢、発育不良の改善につながる可能性があります。

### ② 新生子牛の検査

10か月間、新生子牛がPI牛ではないかの確認検査をします。

### ③ 侵入防止

ワクチン接種、導入牛等の検査をお勧めします。

本病対策には、生産者の皆様の協力が不可欠です。

御理解及び御協力をよろしくお願いいたします。

検査に関するお問合せは・・・



栃木県県南家畜保健衛生所 防疫課

TEL：0282-27-3611 FAX：0282-27-4144